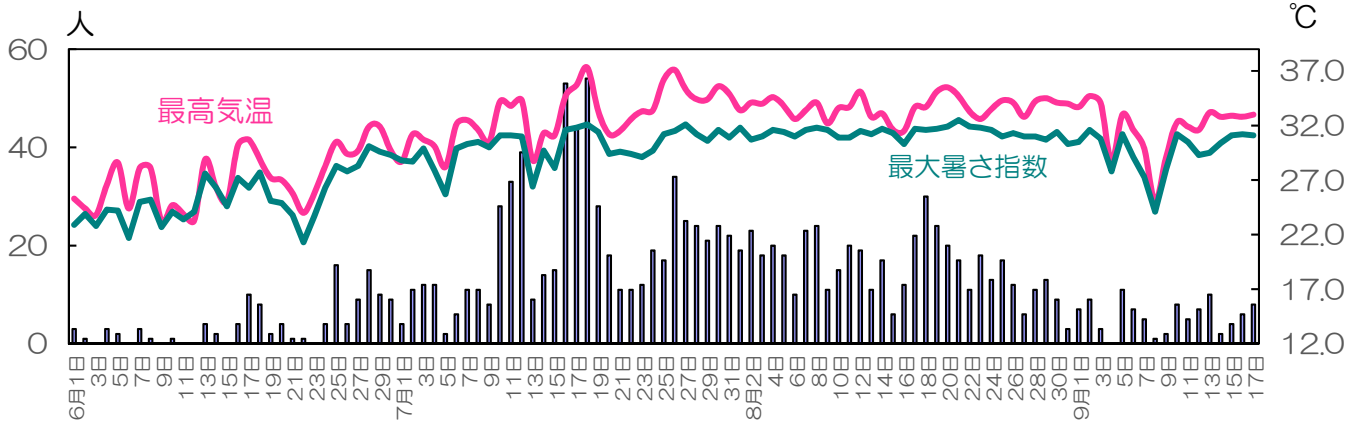


熱中症情報

<搬送数>

令和5年5月1日～9月17日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,373人（5月37人、6月117人、7月632人、8月492人、9月95人）でした。7/14～9/3までは、最高気温30℃以上、暑さ指数28℃以上と厳しい暑さで、8/31・9/3を除き、搬送数は5人以上/日でした（7月18日は、最高気温37.3℃・暑さ指数32.1℃で、54人でした）。9/4は、最高気温28.7℃・暑さ指数27.8℃で搬送数が0人でした。



9月も中旬を過ぎましたが、最高気温30℃以上、暑さ指数28℃以上と厳しい暑が続いています。こまめに水分を取り、室温を適切に調節し、暑さから身を守りましょう。夏の疲れが出る頃なので、体調を崩したりする事がないように、気をつけてお過ごしください。

暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

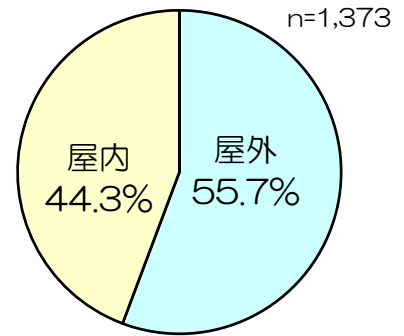
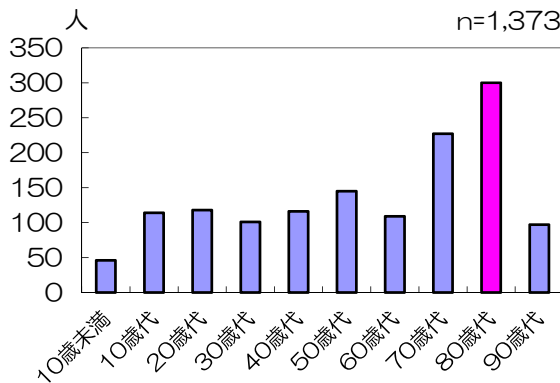
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

80歳代が300人（21.8%）で最も多く、次が70歳代で227人（16.5%）でした。

<発生場所>

屋外55.7%、屋内44.3%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症61.7%、中等症35.4%、重症2.4%、重篤0.5%でした。高齢者（65歳以上）の中等症以上の割合が53.4%と、高くなっており、高齢者に重症化する傾向がみられます。

